2018 年度の英語学研究会（堀田ゼミ）に関する連絡事項と春の課題

2017 年 12 月 21 日
堀田 隆一

1　連絡事項

2018 年度の「英語学研究会」（堀田ゼミ）は火曜日 5 限（3，4 年生合同）となる見込みです．その直前の火曜日 4 限には「英語学演習 III/IV」が入る予定です．新 3 年生の全員，および新 4 年生でこの演習の単位をとっていない学生は原則として火曜日 4 限「英語学演習 III/IV」を履修し，修得してください．堀田ゼミとしては，「英語学演習 III/IV」は原則として卒業のための必修科目に相当するものとして扱います．

- 火 4「英語学演習 III/IV」では，英語史の古典的名著 Baugh, Albert C., and Thomas Cable. *A History of the English Language*. 6th ed. London: Routledge, 2013. のグループ・リーディングにより，英語史の知識を深め，現代英語を歴史的に見る視点を養います．テキストは履修開始前までに必ず精読しておいてください．
- 火 5「英語学研究会」では，グループ研究，卒論研究に伴う資料作り，プレゼンテーション，英語論文執筆に関わる知識や技術を学習します．また，堀田 隆一　『英語の「なぜ？」に答える　はじめての英語史』　研究社，2016 年．のテキストを用い，歴史言語学のモノの見方を学びます．テキストは履修開始前までに必ず精読しておいてください．
- その他，英語卒論執筆のために金 1 のアカデミック・ライティング（沢村静先生）の履修を強く勧めます．

2　新年度開始前の課題

- 新 3 年生
  課題図書一覧（裏面）に挙げられている図書を計 3 冊以上選び，読んでください（うち 1 冊は卒業論文研究の進め方についての和書で「必須図書」．他の 2 冊（以上）は英語で書かれた英語史概説書で「選択図書」より要選択）．目的は，各自が英語（史）についてどのような問題にとりわけ関心があるのかを発見し，開拓していくことです．読書しながら，個人研究のテーマ（につながる自らの関心）を発見してください．新年度 4 月の授業で，どの本を読んだか，また発見したテーマについて報告してもらいます．
- 新 4 年生
  自らの卒論研究テーマについて，自ら設定した課題をこなしておいてください．とりわけテーマに関わる参考文献を収集，精読し，卒論の第 2 章へと発展していく文章にまとめる作業を進めてください．新年度後の早い時期に，研究の中間報告会を開く予定です．
- 新 3, 4 年生共通
  上記の授業のテキストを精読しておくとともに，Baugh and Cable の英語史概説書の目次を暗記しておくこと（全 264 項目．hellog #2089 に一覧あり）．目次暗記の目的は，英語史の流れを完全

に習得し，それを歴史的な視点から自らのテーマをとらえなおす道具とするためです．新年度4月には目次暗記のテストを実施します（試験形態は hellog #3091 を参照）．合格点は 8 割以上とします．

課題図書一覧

以下より，必須図書 1 冊を含め，計 3 冊以上を選び，読んでください．選択図書には簡単な注をつけておきます．その他，課題図書一覧には掲載していませんが，英語史の理解のために hellog #1445 の和洋図書一覧や，そこに張ったリンク先の参考文献も目を通しておくことを勧めます．

1. 必須図書
   - 鹿島 茂（著）　『勝つための論文の書き方』　文藝春秋〈文春新書〉，2003 年．
2. 選択図書
   - Bradley, Henry. *The Making of English.* London: Macmillan, 1955. （古典的名著の 1 つで洞察に富む）
   - Bragg, Melvyn. *The Adventure of English.* New York: Arcade, 2003. （物語口調で読みやすい英語史）
   - Brinton, Laurel J. and Leslie K. Arnovick. *The English Language: A Linguistic History.* Oxford: Oxford University Press, 2006. （言語学的な視点が強く押し出されている）
   - Crystal, David. *The Stories of English.* London: Penguin, 2005. （かなり長いが興味深い逸話に富む）
   - Fennell, Barbara A. *A History of English: A Sociolinguistic Approach.* Maldon, MA: Blackwell, 2001. （社会言語学的な観点からの英語の通史）
   - Gelderen, Elly van. *A History of the English Language.* Amsterdam, John Benjamins, 2006. （言語学・英語学の知識もある程度必要）
   - Gramley, Stephan. *The History of English: An Introduction.* Abingdon: Routledge, 2012. （ウェブ・リソースへのリンクの多い，教科書らしい英語史）
   - Jespersen, Otto. *Growth and Structure of the English Language.* 10th ed. Chicago: University of Chicago, 1982. （古典的名著の 1 つで，外面史の記述に定評がある）
   - Knowles, Gerry. *A Cultural History of the English Language.* London: Arnold, 1997. （社会言語学的な視点からの英語史）
   - McCrum, Robert, Willam Cran, and Robert MacNeil. *The Story of English.* 3rd rev. ed. London: Penguin, 2003. （英語の歴史とともに英語の変種についても詳しい）
   - Schmitt, Norbert, and Richard Marsden. *Why Is English Like That?* Ann Arbor, Mich.: University of Michigan Press, 2006. （英語教員を目指す学生向けの英語史）
   - Strang, Barbara M. H. *A History of English.* London: Methuen, 1970. （構造言語学に則った遡及的英語史記述の名著）
   - Svartvik, Jan, and Geoffrey Leech. *English: One Tongue, Many Voices.* Basingstoke: Palgrave Macmillan, 2006. （現代英語を意識した読みやすい英語史）